

「周産期におけるリエゾンチームもしくは精神科介入患者の実態調査」について

加古川中央市民病院精神神経科では、現在、周産期にリエゾンチームもしくは精神科医が介入した患者さんを対象に表題の研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

基礎疾患として精神疾患がある妊産婦や周産期のストレスやホルモンバランスの変化から精神疾患を発症するケースが認められます。周産期のメンタルヘルスの問題は妊産婦のQOL低下だけではなく、育児不能による虐待などのリスクや自殺のリスクがあります。今回、当院のリエゾンチームもしくは精神科医が介入した患者の実態調査を行うことで、より良い治療法を確立する。

【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 2025年12月31日

【対象患者】

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2022年4月1日から2024年3月31日の間に周産期のため入院し、主治医からの依頼でリエゾンチームもしくは精神神経科医の介入を受けた患者さんの診療録より下記の情報を取得いたします。

基本情報：年齢、身長、体重、過去の既往症、合併症

治療データ：治療経過、病名、処方薬剤（投与量、投与期間など）、臨床検査値、CT画像等

【個人情報保護の方法】

研究データは患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除して匿名化しますので、患者さんを特定することはできません。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 精神神経科 責任者氏名：大谷 恭平

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみを利用するため特にありません。

[登録終了後のデータ取り扱いについて]

研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究参加の辞退または同意撤回があった場合には、その方に関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消された時点ですでに研究成果が論文などで公表されている場合は廃棄できませんのでご了承願います。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれないなど、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 精神神経科

研究責任者名 大谷 恭平

連絡先：079-451-5500